



広報紙でふりかえる、平成の小郡

平成の終わりまで残り1か月。平成の小郡を広報紙で振り返ってみましょう。



平成元年9月1日号

同和対策事業として建設された原田駅大崎線が一部開通し、パレードを開催。みんなに親しまれるようにと、愛称を「七夕通り」と決定しました。



平成2年8月1日号

「七夕の里おごおり」のシンボルマークが誕生。七夕の里おごおりの「七」をモチーフに、宝満川と田園の広がりをシンボライズ。二つの星は、織姫と彦星、流れるラインは天の川と市民の願いを込めた短冊であり、その重なり合う様子は市民のコミュニケーションを意味しています。

- 元年 第1回野田宇太郎生誕祭
- 2年 七夕通り(原田駅大崎線)一部開通
- 3年 「七夕の里おごおり」のシンボルマークが決定
- 3年 シルバー人材センター設立
- 3年 東野小学校開校
- 4年 きらめきの塔設置(西鉄小郡駅前広場)
- 4年 西鉄三國が丘駅開業
- 5年 七夕会館(現生涯学習センター)開館
- 5年 干潟地区工業団地分譲開始
- 6年 第1回小郡市民音楽祭(現小郡音楽祭)
- 6年 陸上競技場完成、三國中学校開校
- 6年 第1回小郡市民ふれあい運動会開催
- 7年 小郡市の人口が5万人を突破
- 7年 野球場(小郡運動公園)完成
- 7年 宝満ふれあいセンター完成
- 8年 米倉照恭さん(アトランタオリンピック出場(棒高跳び))
- 9年 小郡駅前土地区画整理事業完成
- 10年 「リサイクル推進都市」宣言
- 11年 上岩田地区工業団地分譲開始
- 12年 のぞみが丘小学校開校
- 12年 市ホームページ開設
- 12年 子育て支援センター開設
- 13年 市観光協会発足
- 14年 甘鉄「今隈駅」開業

平成7年2月1日号

平成6年12月、市の人口が5万人を突破！この日、出生届を提出に来られた市民が記念のくす玉を割って記念撮影したときの様子。
なお、平成31年3月1日現在の人口は、59,740人です。



平成8年7月1日号

小郡市出身の棒高跳び選手、米倉照恭さん(当時25歳)が、国際大会で日本新記録「5メートル60センチ」をマークし、アトランタオリンピックへの出場を決めました。



平成16年8月1日号

天然温泉「満天の湯」を備えた総合保健福祉センター「あすてらす」が7月1日にオープン。1階には、住民票などの発行を行うサービスセンターも開設しました。

平成16年7月1日号

撤退した民間バスに代わる地域の交通機関として、コミュニティバスが登場。



平成21年3月1日号

小郡市消防団が、全国の消防団にとって最高の荣誉とされる「まとい」を受賞。



平成30年2月1日号

阪神タイガースに所属する小郡市出身の中谷将大選手が、ふるさとスポーツ大使に就任。またこの日、ふるさとと納税にも協力いただきました。
ちなみに平成30年度の小郡市へのふるさと納税は、3億3千万円を突破。



30年

29年

27年

26年

25年

24年

23年

22年

21年

20年

17年

16年

15年



- 甘鉄「大板井駅」高架駅開業
- 七夕通り(原田駅大崎線)全線開通
- 総合保健福祉センター「あすてらす」完成
- コミュニティバス運用開始
- 生涯学習センター(旧七夕会館)開館
- 第1回あすてらすフェスタ
- 人権教育啓発センター開館
- 古代体験館おごおり開館
- クリーンヒル宝満竣工
- 小郡市消防団特別表彰「まとい」受賞
- 人権のまちづくりふれあい公園完成
- 九州歴史資料館開館
- 大保・今隈10号線開通
- 味坂校区幹線開通
- 端岡駅東側駅前広場完成
- 図書館キャラクター「ラックン」命名
- 新端岡橋「満天橋」開通
- 七夕神社周辺地域が「恋人の聖地」に認定
- おごおり情報プラザ開設
- 都市計画道路本郷基山線開通
- 東山彰良さん(P17参照)が直木賞受賞
- 小郡市観光大使オリリン・ヒコリン誕生
- 県道久留米小郡線バイパス開通
- 阪神タイガース中谷将大選手ふるさとスポーツ大使就任
- ふるさととスポーツ大使就任
- 沖縄県本部町と友好のまち協定締結
- 市フェイスブックページ開設
- 初代地域おこし協力隊が就任
- 校区公民館がコミュニティセンターに
- 県道鳥栖倉倉線バイパス開通
- 市オリジナルのカラーマンホールを設置

平成27年11月1日号

市の観光大使「オリリン・ヒコリン」が誕生！以降、市内のいろんなイベント会場に登場しています。

